



花巻市民の皆さんからのメッセージ



大迫町・ベルンドルフ市友好会会長
穂積 恵祥 さん

歴史を踏まえた交流の深化に向けて

45周年記念の時に、大迫小学校を代表して公式訪問団の一員に加えてもらい、初めてベルンドルフ市を訪問しました。大迫小学校とベルンドルフ小学校が姉妹校締結をして30年の記念の年でもありました。

訪問前に全校児童が千羽鶴を折り、手紙を書き、学校紹介のDVDを作り、ベルンドルフ小学校で贈呈しました。ベルンドルフ市では、終始温かい歓迎を受け、節度と品のある接遇に、ベルンドルフ市民の民度の高さを感じました。交流の歴史は、人とのつながりで築かれた信頼できる友人であることを証明していると確信しました。

ベルンドルフ・花巻友好都市協会のヨゼフ会長、ギュンター副会長は大迫町民に知られ、大迫町・ベルンドルフ市友好会では、藤館昌弘顧問、高橋喜和理事がワインを通して多くの人と親交があります。友好会では、両市民の交流が深化するように次世代育成を図ってまいります。



友情深める受け入れを

令和元年度派遣研修生
大迫高校3年

松本 果純 さん

昨年11月に10日間、ベルンドルフ市に派遣させていただきました。

現地には「大迫広場」があり、「大迫」と漢字で書いてある看板がありました。滞在期間中は派遣生全員でたくさんの教会を回り、たくさんの様式があることを学びました。ギムナジウム校には、花巻市のことをまとめた模造紙が貼ってあったり、神楽の絵が描かれている絵馬が飾られていたり、ベルンドルフ市と花巻市の関係が深いことを実感しました。

令和2年は友好都市提携55周年目を迎える記念すべき年です。今年はいつものようにギムナジウム生の訪問がないのが残念ですが、次に自分が受け入れる側になった際には、良い思い出をつくってもらえるように、ドイツ語を少しでも話せるようにして、花巻市の良いところを知ってもらえるような受け入れをしたいです。

友好関係の深さを実感

令和元年度派遣研修生
矢沢中学校3年

澤田 凛太郎 さん

昨年11月の派遣研修で、ベルンドルフ市に行かせていただきました。

ベルンドルフ市では、自分たち以外の日本人と会うことはありませんでしたが、観光バスのガイド放送が日本語で、温かい配慮を感じました。

ホームステイ先では、ベルンドルフ市の伝統的な料理や日本との生活様式の違いをホストファミリーにとっても親切に教えていただき、学びながら楽しく過ごしました。研修中には、学校やレストランで歓迎会が開かれ、参加者のお話から、花巻市との友好関係の深さを実感しました。

受け入れる側になったら温かく迎え入れ、花巻市の良さを知っていただき、たくさんの思い出をつくってもらいたいと思います。両市の素晴らしい関係をこれからも続け、より多くの人に知ってほしいと思います。



ベルンドルフ市の皆さんからのメッセージ



ベルンドルフ市長
フランツ・リンズラー さん

友好都市提携55周年を祝して

大迫町・花巻市と友好都市関係が55年続いていることは、ベルンドルフ市にとって、さらには市長として非常に貴重だと感じています。

村田柴太町長とレオポルド・シュタイナー市長の先見の明のおかげで、1965年にオーストリア共和国では最も歴史の古い友好都市提携が実現しました。

2都市間の交流は相互の訪問を通してますます身近で心の通い合うものとなっています。友情を深めるために最善を尽くしている友好都市協会会長のヨゼフ・ビュクセンマイスター氏に感謝しています。

伝統の学生交流では、両国の若者たちが異国文化に触れ、お互いの国を身近に感じてくれています。異国を知ることは将来の彼らの人生において、仕事や私生活で大きな意味をもたらすでしょう。

私はワイン生産者として育ってきたので、ブドウ栽培やワイン造りが友好関係の一つの役割を担っていることをうれしく思っています。数年前、オーストリアワインの代表とも呼べるブドウ品種「グリュナー・ヴェルトリーナー」の苗木を大迫に贈りましたが、そのワインが試飲できる日を楽しみにしています。

文化的で友好的な都市交流の関係をベルンドルフ市が今後も継続していけるのは大変名誉なことです。



ベルンドルフ・
花巻友好都市協会会長
ヨゼフ・
ビュクセンマイスター さん

長き友情に感謝

ベルンドルフ市とベルンドルフ・花巻友好都市協会は、ベルンドルフ市と花巻市・大迫町との友好都市提携55周年を祝っています。

友好都市提携時の全メンバーを私はよく知っていて、何十年もの月日をかけて彼らの友情を間近で見てまいりました。2009年からは、私の良き友でもあるギュンター・エルマー氏と共に、両市の友情をさらに深める活動ができており、とてもうれしく誇りに思っています。

この長い年月に行われた相互訪問の中で、多くの友情関係が生まれ築かれたことが非常に誇らしいです。友情の構築に関わった市民、友人、知人、市長、そして全ての皆様に心から感謝しています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、記念式典を開催できませんが、来年こそベルンドルフ市で式典を開催し、花巻市大迫町の訪問団の皆様と55年の友情を祝いたいと思っています。その際には、今後の両国の関係をさらに強いものにしてくれるであろう、国際交流事業に参加する花巻市の生徒の皆さんにも同席をお願いしたいと思います。

上田市長や穂積ベルンドルフ市友好会会長、そして訪問団の皆様と、またベルンドルフ市でお会いできることを楽しみにしています。

友好都市提携55周年記念式典を延期します

友好都市提携55周年の今年は、ベルンドルフ市で記念式典が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期になりました。

令和3年は、ベルンドルフ市と本市で延期した記念式典が開かれるほか、例年通り青少年派遣研修、ギムナジウム校の受け入れなどが行われる予定です。



①ギムナジウム校受け入れの様子 ②ベルンドルフ市を訪れた訪問団の皆さん

ターで歓迎セレモニーや市民交流会を開催したほか、ベルンドルフ市から贈られたブドウの苗木50本を株式会社エーデルワインの圃場に植樹しました。大迫ふるさとセンターで開かれた記念式典・祝賀会では、これまでの交流の思い出を語りながら友情を確かめ合い、友好への思いを新たにしました。

ベルンドルフ市と本市では、5年ごとに記念式典を開催。訪問団が相互に式典に出席しています。平成27年の友好都市提携50周年の際には、ベルンドルフ市からの訪問団17人と、ギムナジウム校の生徒8人、引率2人を迎え記念行事を実施。大迫交流活性化セン

友好都市提携の周年記念式典

*ギムナジウム校：日本の中学校・高校に当たる学校

ベルンドルフ市との交流は、本市が提携している国際姉妹友好都市の中で最も古く、全国的に見ても長い歴史があります。昭和41(1966)年、大迫高校の生徒の1人と、親善登山隊10人をベルンドルフ市に派遣したのを皮切りに、両市(町)民同士の交流が本格的に開始。以来、青少年派遣研修、ギムナジウム校(※)生徒の受け入れなど、青少年の相互理解に力を注ぐ一方、登山やスキーでの交流、ワイン留学生の派遣、郷土芸能の紹介など、地域の風土に根差した幅広い交流を行っています。

地域に根差した相互交流